

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	氏名	販売数	販売額	勤務日数	等級
201	石田 美咲	3,910	8,210,000	17	C
202	橋本 健太	4,050	8,500,000	20	A
203	宮下 さくら	3,770	7,980,000	16	D
204	田中 悠馬	3,860	8,110,000	18	B
205	山口 結菜	3,990	8,320,000	21	B
206	藤原 蓮	3,850	8,030,000	17	E
207	小林 陽翔	4,010	8,620,000	19	A
208	青木 真帆	3,930	8,410,000	18	C
209	佐野 大和	3,800	7,940,000	16	D

<基準テーブル>

項目名	基準値
基準販売数	3,900
基準販売額	8,200,000

<基準テーブル>

等級	固定給(円)
A	193,000
B	188,000
C	183,000
D	178,000
E	173,000

<判定表>

勤務日数	支給総額	判定
18日以上かつ400,000以上		★★★
18日以上かつ385,000以上399,999未満		★★
それ以外		★

※勤務日数・等級のデータは<出力形式2>で使用されます。

<処理条件>

1. <出力形式1>のような「販売データ表」を作成しなさい。（——の部分は空白とする）
2. 評定Aは以下の式で求め、整数未満切り上げとする：※基準販売数は<基準テーブル>を絶対参照する。
評定A = 販売数 ÷ 基準販売数 × 100
3. 評定Bは以下の式で求め、整数未満切り上げとする：※基準額は<基準テーブル>を絶対参照する。
評定B = 販売額 ÷ 基準販売額 × 100
4. 出来高給は以下の式で求めなさい：
出来高給 = 960 × (評定A + 評定B)
5. 合計を求めなさい
6. <出力形式2>のような「社員別支給総額一覧表」を作成しなさい。（——の部分は空白とする）
7. 等級に応じた固定給は、<固定給テーブル>を表検索しなさい。
8. 特別手当は以下の式で求め、10位未満を切り捨てる：
特別手当 = (固定給 + 出来高給) × 5% × 勤務日数 ÷ 20
9. 支給総額は以下の式で求めなさい：
支給総額 = 固定給 + 出来高給 + 特別手当
10. 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
11. 合計行を作成し、固定給・出来高給・特別手当・支給総額の合計をそれぞれ求めなさい。
12. 表は社員名の昇順で並べ替えなさい。
13. 社員別支給総額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
14. 表の外枠は太線、内枠は細線で区別すること。
15. <出力形式2>における「固定給」「出来高給」「特別手当」の項目について、氏名ごとの積み上げ横棒グラフを作成しなさい。グラフタイトルは「氏名別の集計グラフ」とし、凡例は「固定給」「出来高給」「特別手当」とすること。

<出力形式1>

販売データ表

CO	氏名	販売数	販売額	評定A	評定B	出来高給
			(途中省略)			
	合計			—	—	

<出力形式2>

社員別支給総額一覧表

CO	氏名	勤務日数	等級	固定給	出来高給	特別手当	支給総額	判定
				(途中省略)				
	合計	—	—					—

<出力形式3>

勤務日数が18日以下の支給総額の合計	
等級がA以外の特別手当の最大値	